

製品名: N カドヘリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21484**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:125kD;Observed MW:130kD

抗原情報

遺伝子名	CDH2
別名	CDH2;CDHN;NCAD;Cadherin-2;CDw325;Neural cadherin;N-cadherin;CD antigen CD325
遺伝子 ID	1000.0
SwissProt ID	P19022
免疫原	ヒト N カドヘリンの合成ペプチド

背景

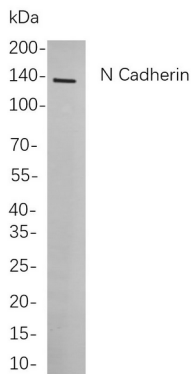
細胞局在: 膜。この遺伝子は古典的カドヘリンをコードし、カドヘリンスーパーファミリーの一員である。選択的スプライシングにより複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つはプレプロタンパク質をコードしており、このタンパク質はタンパ

ク質分解によってカルシウム依存性細胞接着分子と糖タンパク質を生成する。このタンパク質は、左右非対称性の確立、神経系の発達、そして軟骨と骨の形成に関与する。[RefSeq 提供、2015年11月]

研究分野

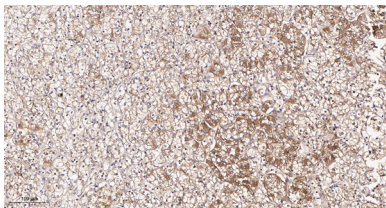
-

画像データ

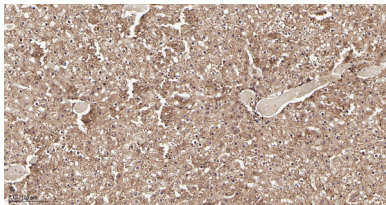


マウス脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析

Nカドヘリンウサギモノクローナル抗体を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト腎臓癌組織の免疫組織化学分析。1、Nカドヘリンウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット肝臓組織の免疫組織化学分析。1、Nカドヘリンウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。